

2017年 教育部山行 氷ノ山

1月28日～29日、教育部訓練山行で兵庫県の氷ノ山に登りました。参加者は男性1名、女性6名の計7名。

8名乗りのレンタカーでみんなワイワイいいながらの道中。トンネルを超えるたび雪深くなって「雪国」さながら。当初兵庫県側からの登山の予定でしたが、直前に大雪が降ったので、安全策として登山者の多い鳥取県側のわかさ氷ノ山スキー場からのアプローチとなりました。

テント泊訓練を兼ねていたので、車を停めてテントを張る場所作り。雪の積もった斜面をまっすぐに踏み固めて、さぁテントをはろうというところで、ポールがない!!! 急遽「高原の宿氷太くん」に宿泊することに。大きなお風呂に入れて、暖かいお布団があって、一部の軟弱メンバーは大喜び。



翌日はさぁ氷ノ山へ。

雪がかなり深いこと、午後から天気が崩れることから、自力でのラッセル登山は諦めて、リフトで高度をあげてから山頂を目指して周回ルートで下山というコースになりました。

8:00にリフトに乗って、スキー・スノボ客に混じってリフトを降りれば、深い雪の世界。遠くに大山も臨めます。

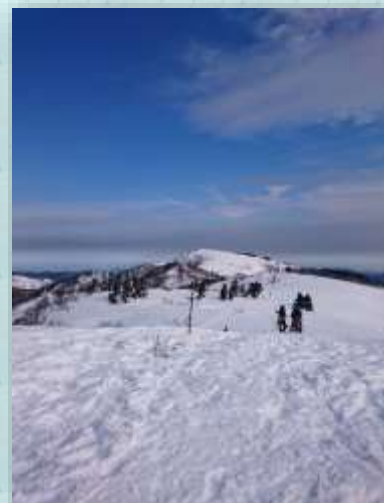
こんな雪の中を歩いていきます。昨日の快晴で登山者も多かったみたいで、雪の上にトレースもしっかりついています。少し歩いたところで、雪に靴が埋まり始めて、ワカン装着。

今回、ワカン初体験が3名。雪の上での浮力とすべりやすさを確かめながらの歩きです。



9:40三ノ丸避難小屋到着。雪に半分埋まった避難小屋がかわいい。

お天気ももってくれていて、青空も覗きます。三ノ丸から向こうに見える頂上目指して、気持ちの良い歩きです。





10:45山頂避難小屋到着。なんかかわいい形。



避難小屋で軽く行動食をとって、さあ下山です。



下山途中で振り返ると、山頂の避難小屋が小さくポツン。



途中で出会った怪獣のような木。

下山途中、登山ルートからちょっとはずれた急斜面でラッセルしながら足場を固めて登る訓練をしました。膝で雪を固めて一歩踏み込めば崩れてズズズ…最初はなかなか固めるコツが掴めず、上がっていかない…何度か教えてもらって、ニードロップの感じでやればうまく固まることを発見。雪に誰かの顔を思い描いて？えいと膝に力を入れてニードロップ。一歩また一歩、少し上がっただけですごくしんどい。これって訓練じゃなく本当のラッセルだったらすぐバテて、動けなくなりますね、体力つけなくちゃ…

20~30分訓練した後下山。宿泊所についた頃から天気予報通りポツポツ雨が。でも、みんなの日頃の行い？のお蔭で、登山中は良いお天気だったので、気持ちの良い山行でした。